

今後の環境モニタリング調査内容 及び工事計画

令和3年11月

沖縄県土木建築部八重山土木事務所

1 今後のモニタリング調査内容

調査項目	調査内容	調査地点	調査時期・回数
1.水質調査	①現場測定項目（水深、水温、水色、臭気、透明度） ②分析項目（SS、濁度）	浦内橋の上流・ 下流の2地点	工事中に年4回
2.陸上植物調査			
希少植物種の 移植	変更区域内に生育する希少な植物種の移植を行う。	変更区域内	工事前に1回
希少植物の移植後の 生育状況調査	移植を行った個体の移植後の生育状況調査を行う。 移植後の生育状況が悪化、不良となった場合は、 専門家の指導・助言を受けて、再移植を行う。	移植先	移植後1年間は月 1回。その後は、 年4～6回。移植 後3年程度
浦内橋周辺 植生状況調査	①ヒルギ類の分布状況の把握 ヒルギ類の毎木調査を行い、ヒルギ類の生育状況、 個体数等の増減を把握し、工事による生育状況 の変化が生じていないかを確認する。	工事予定箇所周 辺に設置した方 形枠 (QR5～9)	工事中 年2回(春・秋)
	②希少植物の生育状況の把握 変更区域周辺に生育する希少植物(ヒルギモドキ、 ヒルギダマシ)の生育状況調査を行い、工事による生 育状況の変化が生じていないかを確認する。	変更区域周辺	
	③外来植物の分布状況の把握 変更区域周辺を踏査し、生態系への影響が懸念さ れる外来植物の分布状況の把握及びその駆除を行 う。	変更区域及びそ の周辺	

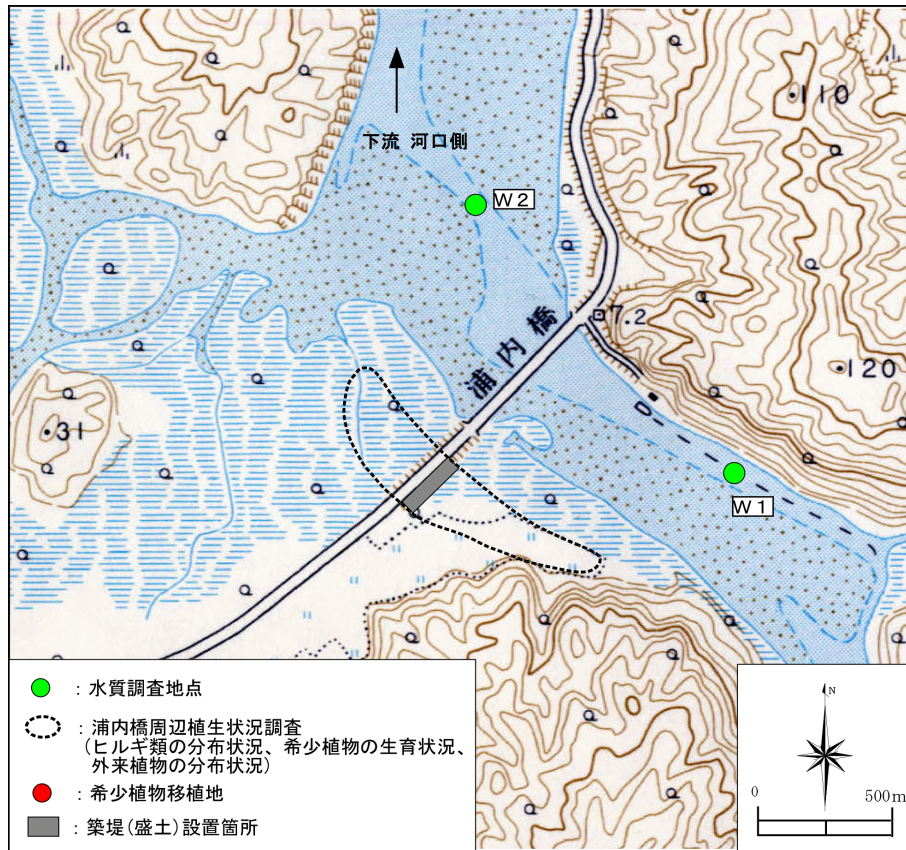
※ 表中の黄色網掛けは、工事着手前に実施した調査項目を示す。

調査項目	調査内容	調査地点	調査時期・回数
3.陸上動物調査			
希少動物種の移動	改変区域に生息する希少な動物種の捕獲・移動を行う。	両河岸の橋台付近	工事前に1回
鳥類繁殖・生息状況調査	カンムリワシを含む希少な鳥類の繁殖及び生息状況の調査を行って、架替工事による影響を確認する。	過年度現地調査地点と同じ3地点	つがい形成期・繁殖期（3～6月の各月1回）、巣外育雛期（9月1回）
イリオモテヤマネコの生息状況調査	①西表島での生息状況 既存資料調査により、西表島全域における生息状況、環境保全対策の実施状況を整理する。	—	工事前に1回
	②浦内橋周辺での生息状況 自動撮影カメラ（センサー付き）を設置し、生息状況を把握する。	浦内橋の左岸側に2箇所、右岸側に1箇所	自動撮影カメラの設置期間は連続測定（1年間）を想定
ロードキル調査	①発生状況調査 イリオモテヤマネコを含む貴重生物のロードキル状況の確認を目視にて行う。	資機材運搬ルート（県道215号線の仲間（大原）港から白浜港までの区間）	工事中に年4回（資機材搬入時）
	②発生防止啓発 作成済の発生防止啓発資料を随時更新し、施工業者に対して啓発を行う。	—	工事前に1回
外来生物調査	①侵入状況及び駆除 建設資機材等とともに、特定外来種が西表島に侵入していないか、目視確認及びその駆除を行う。	資機材の搬入箇所（白浜港、上原港、船浦港、仲間（大原）港を想定）及び資材置き場	工事中年4回

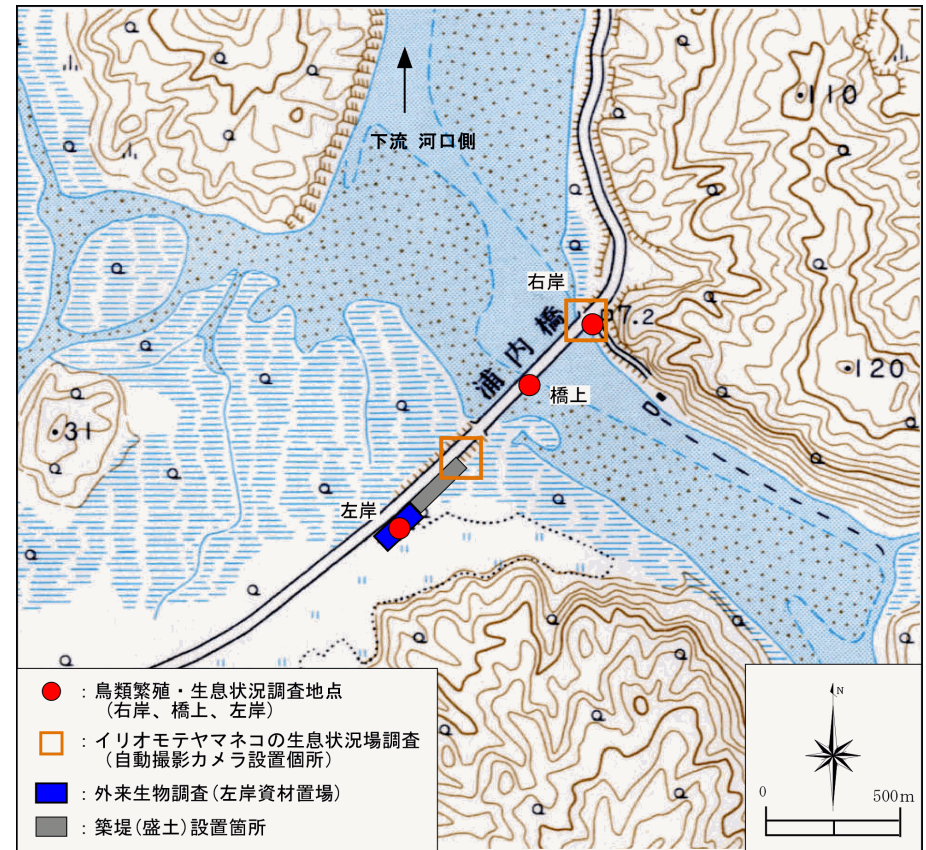
※ 表中の黄色網掛けは、工事着手前に実施した調査項目を示す。

調査項目	調査内容	調査地点	調査時期・回数
4.水生生物調査			
水生生物の移動	築堤(盛土)区間及びH鋼打設箇所に生息する貴重な水生生物の捕獲・移動を行う。H鋼打設箇所付近では潜水作業による捕獲、水深50cm以浅ではタモ網による捕獲を行う。	左岸側の築堤(盛土)区間及びH鋼打設箇所	工事前に1回
水生生物の生息状況調査	①魚類、貝類、甲殻類 捕獲法(タモ網、投網、掘り取り)、目視観察法及びトラップ法(カニカゴ)により調査を行い、水生生物相を把握するとともに、工事により、出現種等の変化が生じていないかを確認する。	現況把握と同地点の3地点	夏季、冬季の2回 工事中から工事後3年程度
浦内橋周辺環境調査	①空撮による滯筋等の把握 ドローンによる空撮を行い、仮設橋設置等の工事により浦内橋周辺の滯筋の状況、土砂の堆積状況に変化が生じていないかを確認する。	現況と同範囲	水生生物調査時の2回及び大雨後2回程度
	②浦内橋周辺の水深 仮設橋設置等の工事により、周辺の水深に変化が生じていないかを確認する。	現況と同じ2測線	

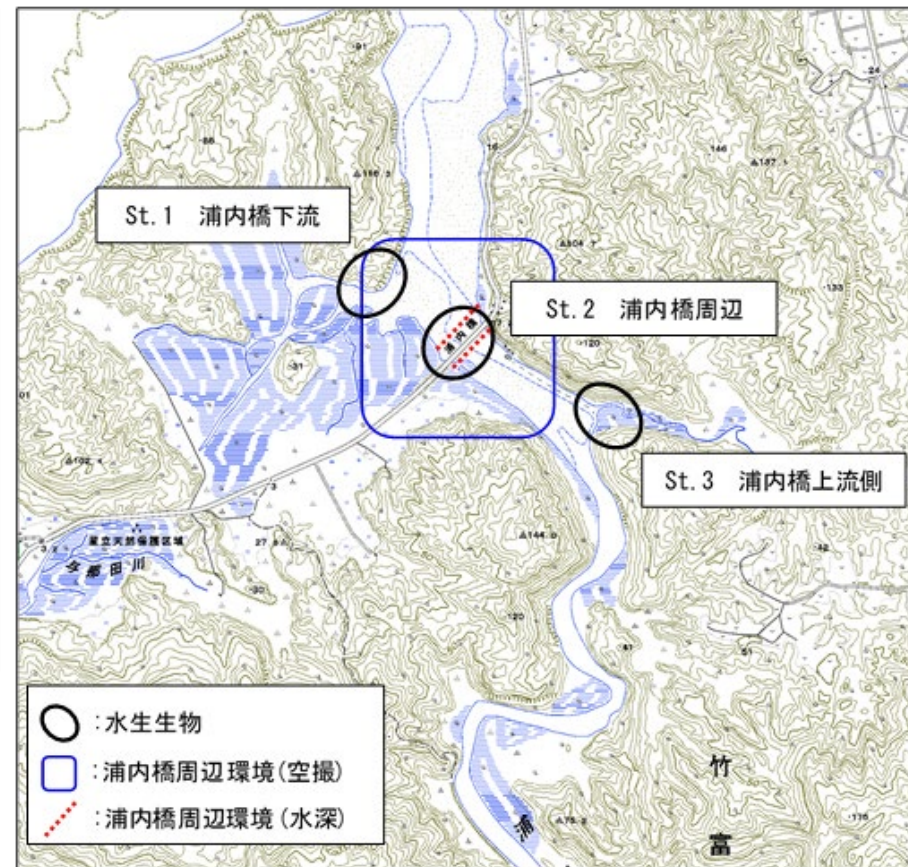
※ 表中の黄色網掛けは、工事着手前に実施した調査項目を示す。



水質、陸上植物のモニタリング調査地点
 ※重要種保護の観点により、希少植物移植地は表示
 していません。



陸上動物のモニタリング調査地点



陸上動物【ロードキル調査・外来生物調査】
モニタリング調査地点

水生生物のモニタリング調査地点

2 今後の工事計画

2-1 全体計画及び進捗状況（工程表）

西暦		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
和暦(令和)		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
年数		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目
迂回路	計画	迂回路の新設											迂回路の撤去	
	実施													
既設橋	計画				既設橋の撤去									
	実施													
新橋	計画					新橋の設置						マングロープの復旧		
	実施													

備考1：予算措置の状況等により、工程は変更となる場合がある。

〳 2：迂回路の新設と既設橋の撤去は重複しない。

〳 3：迂回路の撤去と新橋の設置は重複しない。

2 今後の工事計画

2-2 進捗状況 (写真)

浦内橋(2021年8月末施工箇所撮影)

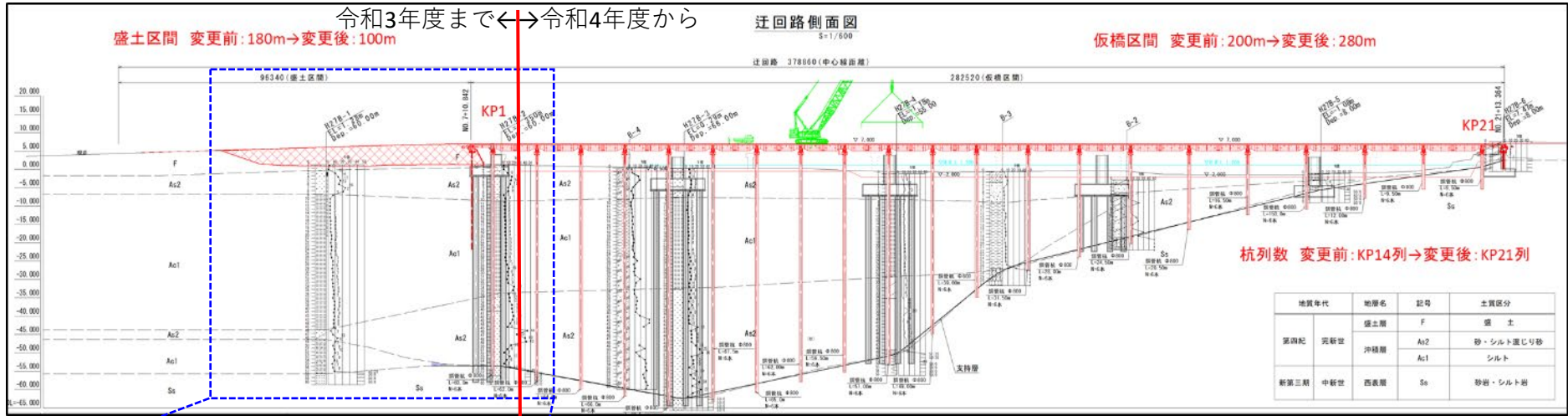


浦内橋(2020年撮影)

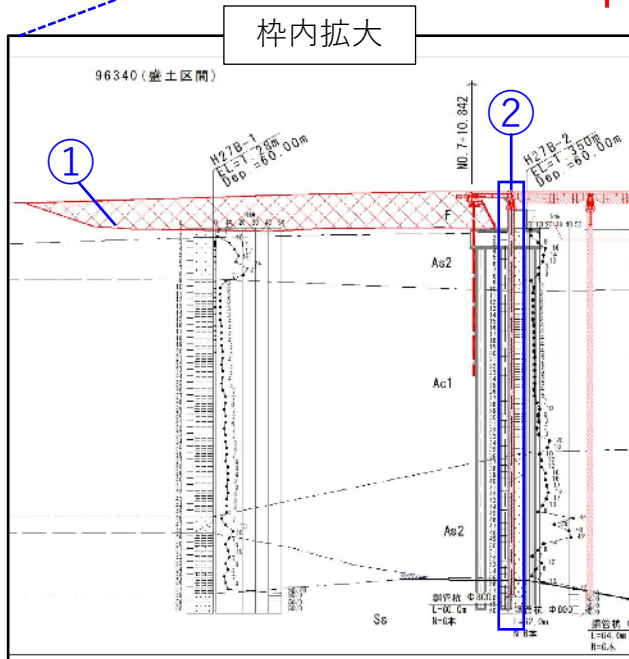


2 今後の工事計画

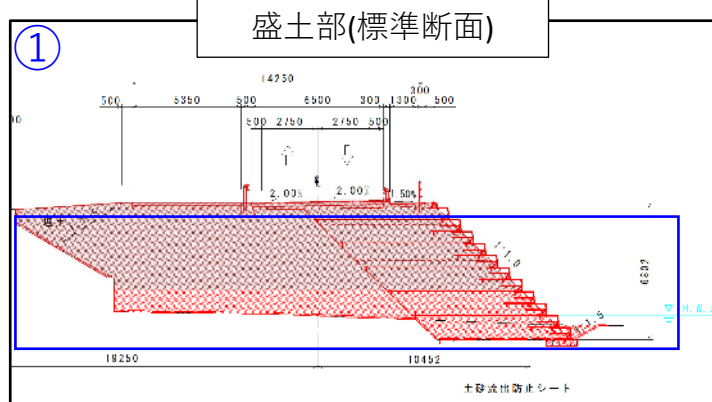
2-3 現況進捗状況 (図面)



枠内拡大

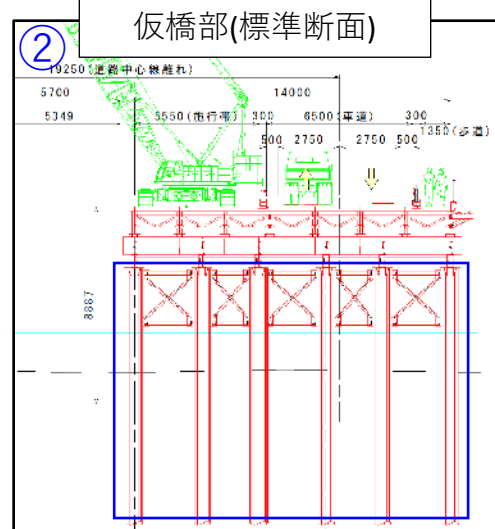


盛土部(標準断面)



↑令和2年度まで
盛土全延長完了
盛土高さ約9割完了

仮橋部(標準断面)



↑令和3年度から
一列目(KP1)杭部施工予定